

第 88 回日本細菌学会北海道支部学術総会

The 88th Annual Conference of
Japanese Society for Bacteriology Hokkaido Branch

プログラム



期日

2023年8月26日（土曜日）
August 26, 2023 (Saturday)

会場

とかちプラザ 1階 大集会室
北海道帯広市西4条南13丁目1
日本細菌学会北海道支部

※本プログラムは2023年8月7日現在のものです。

今後、修正の可能性があることをご留意ください。

会場案内図

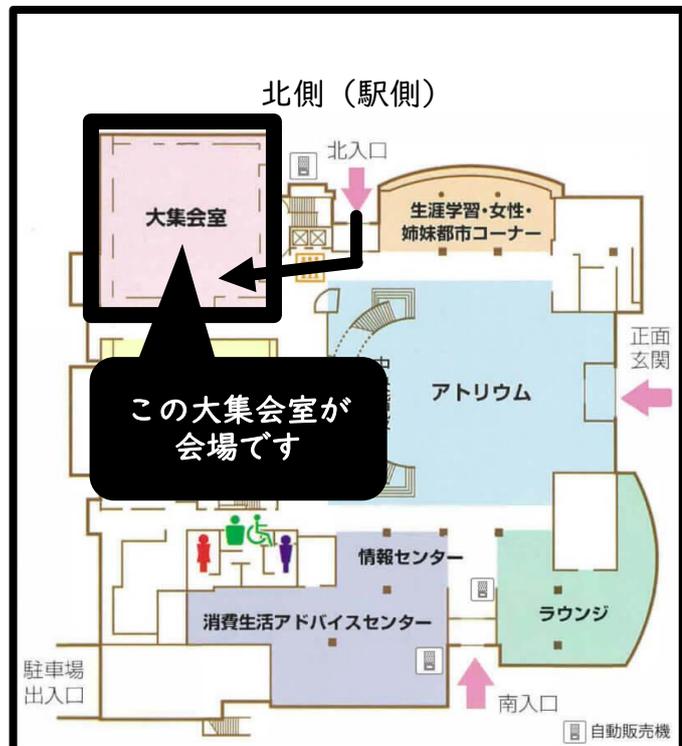
【とまちプラザ】

JR 帯広駅南口を出て目の前の建物（右写真）がとまちプラザです。



自販機隣に駅側からの入り口があります

駅側（北入口）からとまちプラザに入って、すぐ右手に大集会室の入口があります。



この大集会室が会場です

発表者・座長の方へ

<発表時間・質疑応答時間>

一般演題：発表 10 分間、質疑応答 3 分間

Oral session: Presentation for 10 min, and then discussion for 3 min

特別講演：講演 40 分間、質疑応答 10 分間

Special lecture: Presentation for 40 min, and then QA for 10 min

日本細菌学会北海道支部会賞について

演題番号 1 から 10 は学生、ポスドク、助教による演題となります。これらの演題を対象に、日本細菌学会北海道支部会賞（最優秀賞 1 件、優秀賞 2 件）を選考します。総会当日、現地会場参加者に投票をしていただき、総会の終了時に受賞者の発表と賞の授与を行います。

情報交換会について

学術総会終了後に情報交換会を行います。今回はケータリングをお願いし、同じ会場で開催します。会費は 5000 円を予定しています。演者（共同演者含む）となっている学生の会費は無料を予定しています。皆様、奮ってご参加ください！

プログラム

開会挨拶 概要説明・事務連絡

9:45-10:00

東 秀明 日本細菌学会北海道支部会長

豊留 孝仁 第88回北海道支部学術総会長

一般演題 Session I

10:00-11:00

座長：To be determined

演題 1. アシネトバクテリア感染におけるインフラマソーム応答を介した重症化機序の解明

○松田 泰幸、山内 肇、原 英樹
旭川医科大学医学部感染症学講座微生物学分野

演題 2. リステリア症における Lyn-Syk シグナルを介したインフラマソーム関連キナーゼの探索

○山内 肇、松田 泰幸、原 英樹
旭川医科大学感染学講座微生物学分野

演題 3. MAPK と PI3K-AKT 阻害剤ライブラリーのスクリーニングから紐解く *Chlamydia trachomatis* が感染細胞内で増殖する際に利用する新たな標的分子の探索

○黒岩 青空、高橋 小夏、中村 穂香、大久保 寅彦、山口 博之
北大院・保科・病態解析

演題 4. 低酸素環境における感染細胞内での病原性クラミジア(L2 434/Bu)の増殖はメチオニン代謝産物量の変化に依存する

○李 睿語¹、張 賽成¹、タパ ジーワン²、大久保 寅彦¹、東 秀明²、山口 博之¹

¹北大院・保科・病態解析、²北大・人獣共通感染症国際共同研究所

休憩

11:00-11:10

一般演題 Session 2

11:10-11:55

座長：To be determined

演題 5. Characterization of Enterohaemorrhagic *E. coli* isolated from cattle in Mongolia

○Bulgan Erdenebat¹, Byambajav Zolzaya², Ayushjav Narantuya², Yuji Hirai¹, Nyam-Osor Purevdorj³, Akio Suzuki¹, Toyotaka Sato¹, Motohiro Horiuchi¹

¹Lab. of Veterinary Hygiene, Faculty of Veterinary Medicine, Graduate School of Infectious Diseases, Hokkaido University,

²Ulaanbaatar Veterinary Department, Lab. of Veterinary Sanitation and Hygiene, Mongolia, ³School of Veterinary Medicine, Mongolian University of Life Science, Mongolia

演題 6. Risk Factors and Spatio-temporal Patterns of Livestock Anthrax in Khuvsgul Province, Mongolia

○Tuvshinzaya Zorigt¹, Satoshi Ito², Norikazu Isoda³, Yoshikazu Furuta¹, Misheck Shawa¹, Natsagdorj Norov⁴, Baasansuren Lkham⁵, Jargalsaikhan Enkhtuya⁶, Hideaki Higashi¹

¹Division of Infection and Immunity, International Institute for Zoonosis Control, Hokkaido University, ²Unit of Risk Analysis and Management, International Institute for Zoonosis Control, Hokkaido University, ³Laboratory of Microbiology, School of Veterinary Medicine, Hokkaido University, ⁴Division of Quality Management and Coordination, Mongolian University of Life Sciences, ⁵Laboratory of Infectious Disease and Immunology, Institute of Veterinary Medicine, Mongolian University of Life Sciences, ⁶Laboratory of Food Safety and Hygiene, Institute of Veterinary Medicine, Mongolian University of Life Sciences

演題 7. 雪中生細菌数は流動人口密度と関連しその密度が低値を示す場所では菌叢の多様性が高まる傾向が見られた

○栗城 琴華^{1,2}, 森 沙彩¹, 大久保 寅彦¹, 北条 史³, 大崎 敬子⁴, 山口 博之¹

¹北大院・保科・病態解析, ²北大院・医・医科学, ³杏林大院・医学研究科・実験動物施設部門, ⁴杏林大・医学部・感染症学

休憩

11:55-13:10

日本細菌学会北海道支部 会務総会 13:10-13:30

会務報告 日本細菌学会北海道支部 支部会長 東 秀明

休憩 13:30-13:40

一般演題 Session 3 13:40-14:25

座長：佐々木 貴正 帯広畜産大学 獣医学研究部門

演題 8. テトラサイクリン系抗菌薬の暴露はプラスミド性チゲサイクリン耐性遺伝子 *tet(X)* の選択圧になるか？

○小崎 佑太¹, 福田 昭¹, 中島 千絵², 鈴木 定彦², 白井 優¹

¹酪農学園大学獣医学類食品衛生学ユニット, ²北海道大学人獣共通感染症研究所バイオリソース部門

演題 9. 伴侶動物由来メチシリン耐性 *Staphylococcus pseudintermedius* (MRSP) の性状と人獣共通感染症の可能性

○盛田 佐和¹, 福田 昭¹, 岡村 幸一², 小松 忠人², 露木 勇三³, 鳥居 花衣³, 佐々木 潤平⁴, 鈴木 定彦⁵, 中島 千絵⁵, 白井 優¹

¹酪農学園大学 獣医学群 獣医学類 食品衛生学ユニット, ²住友ファーマアニマルヘルス株式会社, ³サンリツセルコバ検査センター, ⁴帝京大学医学部 附属病院, ⁵北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所 バイオリソース部門

演題 10. 鶏肉及びその他畜産物から分離されたサルモネラ株の性状

○鈴木 正太郎¹, 佐々木 貴正^{1,2}, 岡村 雅史¹, 百瀬 愛佳², 上間 匡², 古谷 陽子³, 浅井 鉄夫⁴

¹帯広畜産大学, ²国立医薬品食品衛生研究所, ³日本食品安全検証機構, ⁴岐阜大学大学院

休憩 14:25-14:35

一般演題 Session 4 14:35-15:20

座長：山崎 栄樹 帯広畜産大学 獣医学研究部門/動食検診セ

演題 11. 成鶏肉のカンピロバクターとサルモネラ汚染状況

○佐々木 貴正^{1,2}, 米満 研三³, 百瀬 愛佳², 上間 匡²

¹帯広畜産大学, ²国立医薬品食品衛生研究所, ³国立感染症研究所

演題 12. 胃腸炎患者から分離されたサルモネラ株の性状

○佐々木 貴正^{1,2}, 小川 美保³, 坂田 竜二³, 百瀬 愛佳²,
上間 匡²

¹帯広畜産大学, ²国立医薬品食品衛生研究所, ³株式会社ビー・エム・エル

演題 13. 家禽チフス菌の病原性関連因子の検索と同定

○岡村 雅史^{1,2}, 羽田 健³, 鈴木 正太郎¹, 小野 久弥², 胡 東良²

¹帯広畜産大・獣医・微生物、²北里大・獣医・人獣共通、³北里大・薬・微生物

休憩

15:20-15:30

一般演題 Session 5

15:30-16:15

座長：岡村 雅史 帯広畜産大学 獣医学研究部門

演題 14. Molecular epidemiology of *Staphylococcus aureus*,
Staphylococcus argenteus, and coagulase negative
staphylococci colonizing healthy adults in northern Japan

○Meiji Soe Aung¹, 漆原 範子¹, 川口谷 充代¹, 大橋 伸英¹, 廣
瀬 弥奈², 小林 宣道¹

¹札幌医大・医・衛生学, ²北海道医療大・歯・小児歯科

演題 15. 環境クラミジアが共生するアメーバは寒天培地上で何故大腸菌を捕食
せずに生きてまま運搬するのか: アメーバによる運搬と菌体サイズと
の関連性

○大久保 寅彦、竹田 流碧、筒井 悠可、山口 博之

北海道大学大学院保健科学研究所

演題 16. 病原性細菌の加速度進化モデルを用いた未来予測

○佐藤 豊孝^{1,3,4,5}, 上村 幸二郎^{1,2}, 小笠原 徳子¹, 山本 聡¹,
齋藤 充史², 黒沼 幸治², 堀内 基広^{3,4,5}, 高橋 聡^{6,7}, 千葉 弘文²,
横田 伸一¹

¹札幌医科大学医学部微生物学講座, ²札幌医科大学医学部呼吸器・アレルギー
一内科学講座, ³北海道大学大学院獣医学研究部獣医衛生学教室, ⁴北海道大学
大学院大学院国際感染症学院, ⁵北海道大学 One Health リサーチセンター, ⁶
札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座, ⁷札幌医科大学附属病院検
査部

休憩

16:15-16:20

特別講演 Special lecture

16:20-17:10

昆虫病原菌 (Insect Pathogen) の昆虫以外の生物
に対する作用

演者：小池 正徳

帯広畜産大学 環境農学研究部門

畜産フィールド科学センター

座長：豊留 孝仁 帯広畜産大学 獣医学研究部門

休憩

17:10-17:15

支部会賞受賞式

17:15-17:25

閉会式

17:25-

情報交換会

閉会式終了後

第 88 回 日本細菌学会北海道支部学術総会 事務局

〒080-8555 北海道帯広市稲田町西 2 線 11 番地 帯広畜産大学

電話番号：0155-49-5888

E-mail: tome[at]obihiro.ac.jp ([at]をアットマークに変えてください)

学術総会長：豊留 孝仁（帯広畜産大学）

学術総会実行委員（五十音順）：

岡村 雅史（帯広畜産大学）

佐々木 貴正（帯広畜産大学）

豊留 孝仁（帯広畜産大学）

山崎 栄樹（帯広畜産大学）